

【レプリコンワクチン接種者の立ち入りをお断りする理由】

このワクチンからできた成分は、接種した者の呼気、汗、排泄物から非接種者へ暴露されることが動物実験からわかっております。このワクチンが始まれば、それを望まない人へもワクチン成分が取り込まれる可能性があるということになります。

今まで行われてきたワクチン接種で問題となっていたのが、頻回なmRNAワクチン接種により、スパイク蛋白が増殖し続けるため、免疫反応を抑えるためのIgG4（免疫抑制抗体）が産生されることが問題となっていました。実は、今回のコロナワクチン接種は、回数を重ねれば重ねるほど、抗原を抑えるためのIgG3の働きをIgG4が妨害する結果となり、病原菌が排除できないということが起こり、コロナウイルスの影響が長期化しています。

そして、コロナウイルスのスパイク蛋白には血栓を形成し、血管内皮を損傷させる働きがあることが分かっています。

では、新しいワクチンはどうでしょう。そもそもこのワクチンは、レプリコン【自己増殖型】との名前のおり、mRNAの増殖力を強力にしたものです。しかし、この増殖にはブレーキ機能がありません。ということは、今までとは比べ物にならないほど長期的にスパイク蛋白が増殖し続けることとなり、今後身体へどのような影響がでてくるのかがはっきりしておらず、安全性が懸念されます。さらには、その成分が体外へ排出され人から人へ伝搬するとなれば、知らない間に人々が危険にさらされることとなります。

開発国はアメリカ。ベトナムでの治験では死者が発生し、日本国以外はまだ認可しておらず、日本が世界初認可となりました。それはなぜでしょうか。開発国のアメリカがなぜ初めに認可しないのか。それは、あらゆる危険性が排除できていないからだと思われます。安全が確保出来ない今、このワクチンの導入には深刻な懸念をいただきます。

接種の推奨、同調圧力により、自分や家族、周囲の人々に危険が及ばないことを願います。

令和6年9月26日

有限会社あきゅぱ

大橋針灸療院・おおはし接骨院